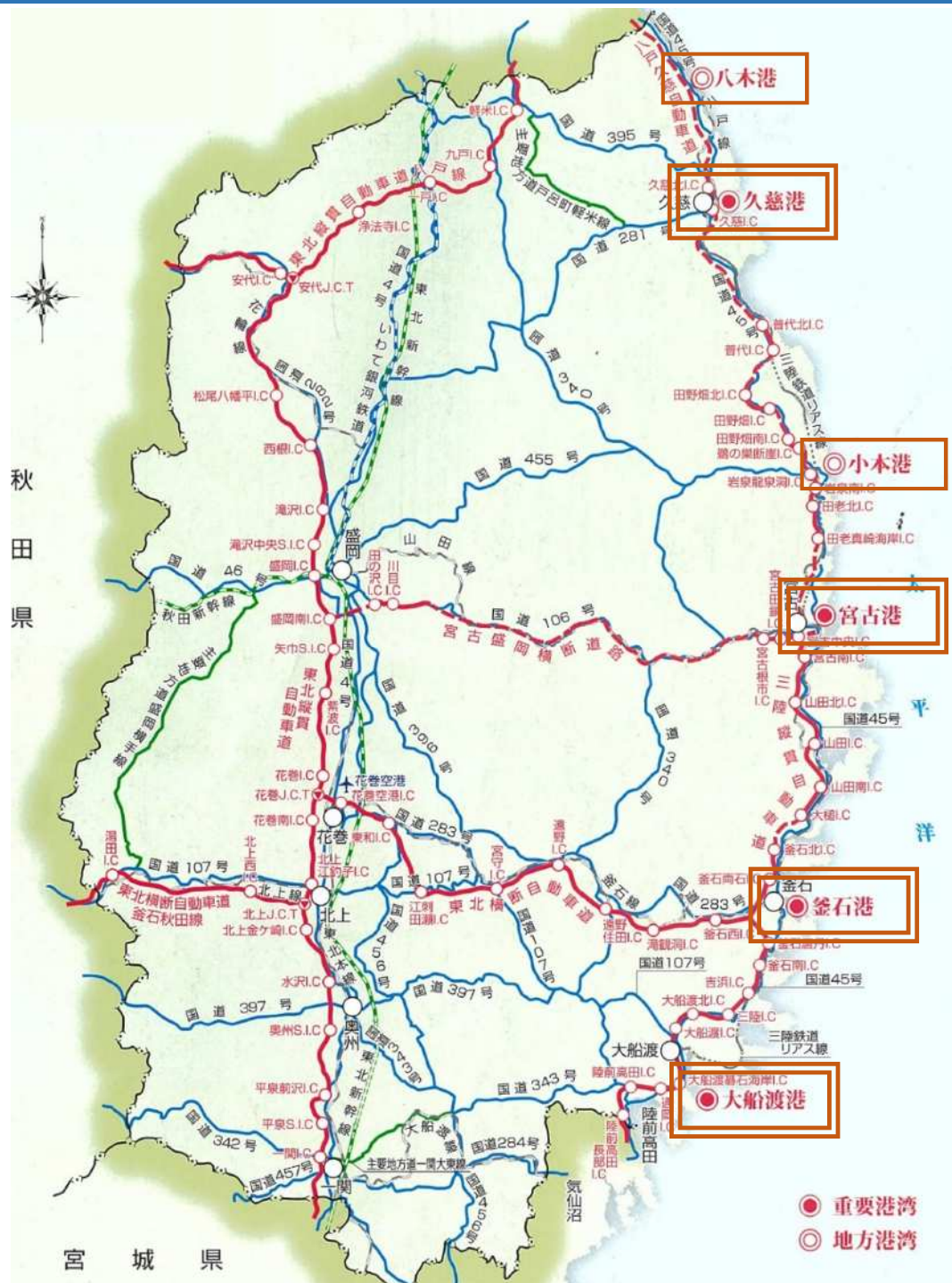


大船渡港の概要について



○県内の港湾

【重要港湾】

久慈港
宮古港
釜石港
大船渡港

【地方港湾】

八木港
小本港

⇒ 県内の重要港湾 4 港について、順次脱炭素化推進計画を策定していきます。

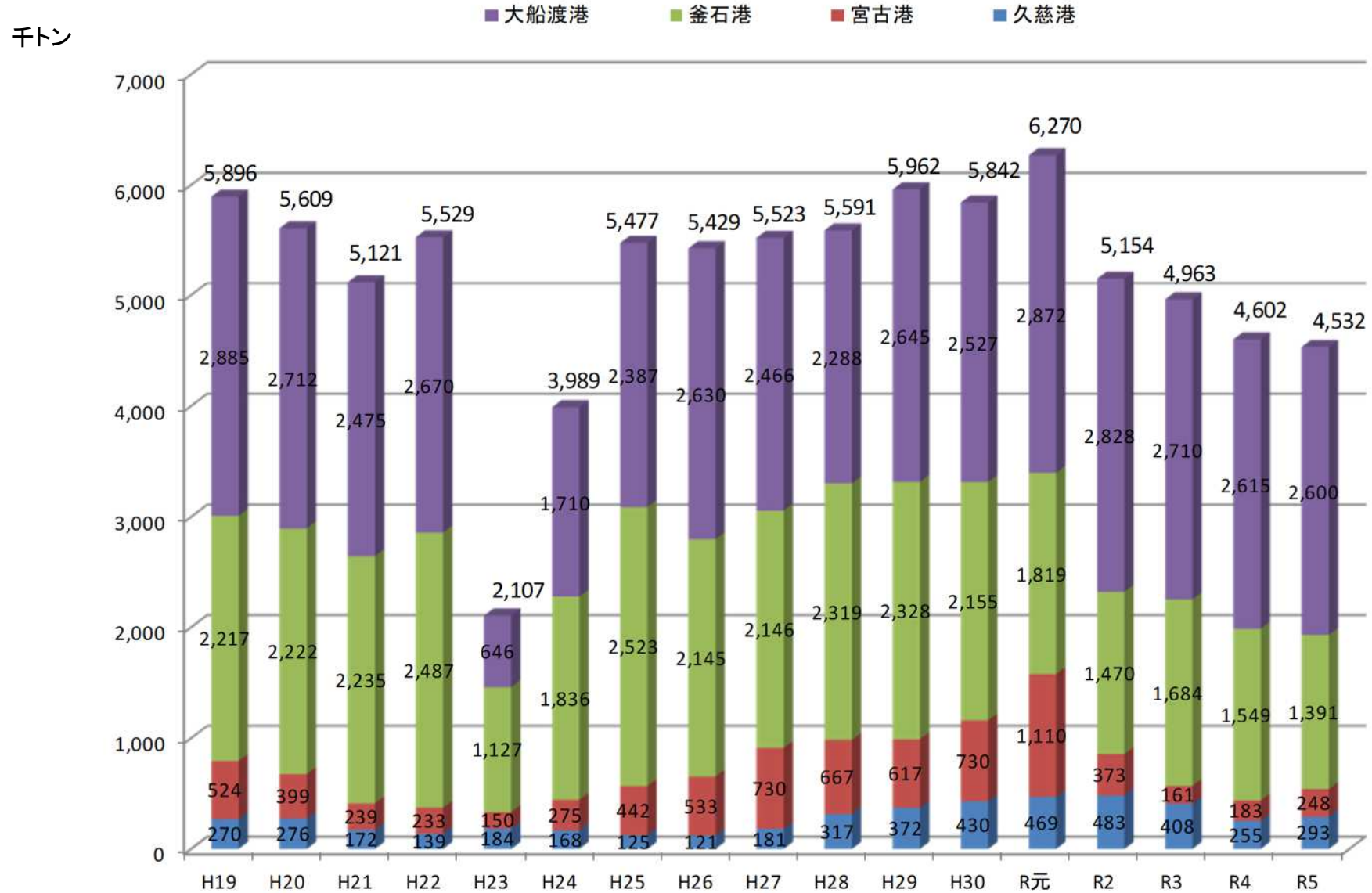
(R5～久慈港、釜石港
R6～宮古港、大船渡港)

大船渡港の主な地区



岩手県内重要港湾における取扱貨物量の推移

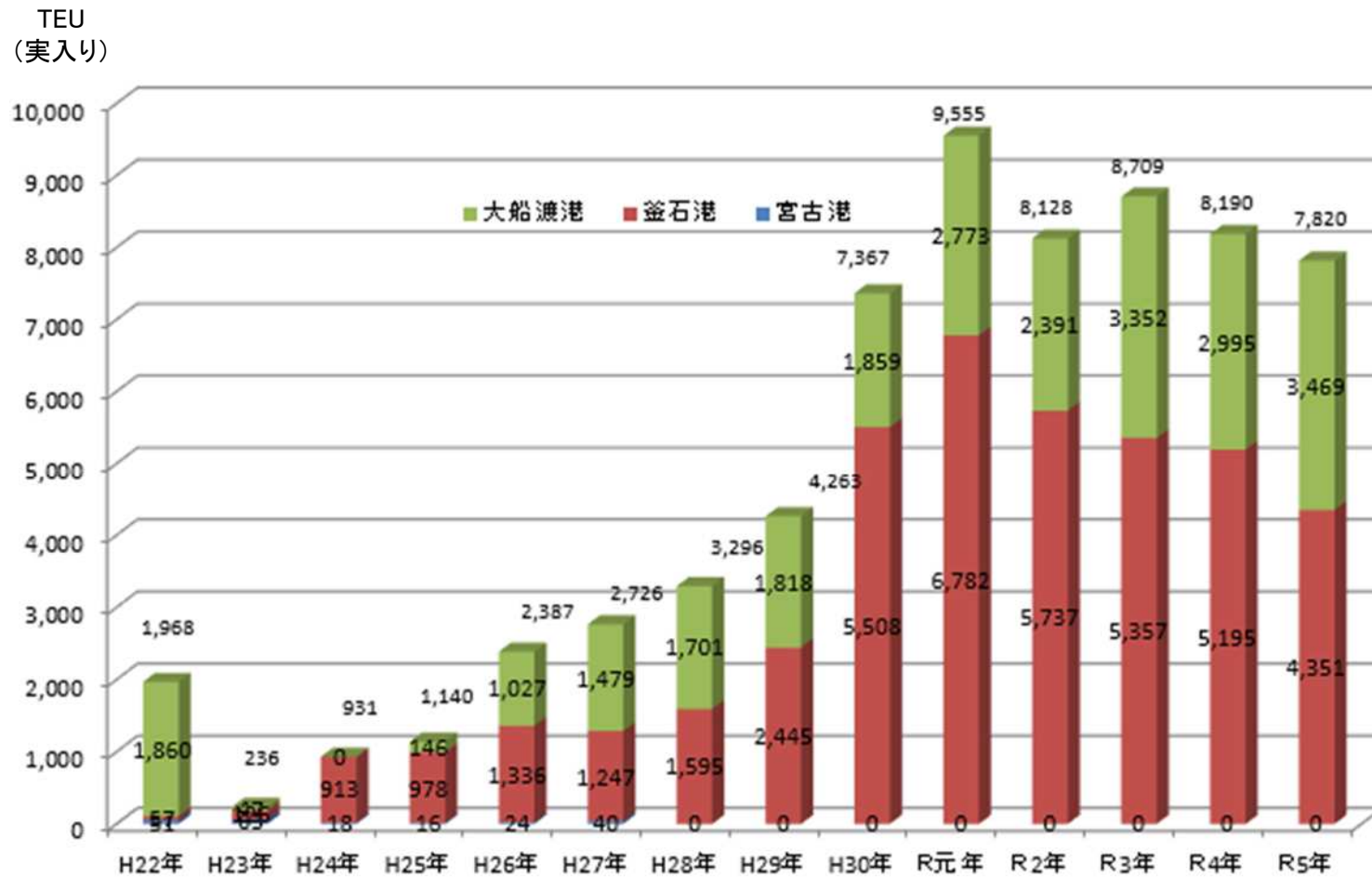
令和5年の岩手県内重要港湾における取扱貨物量は、約453万トンとなった。
 (対前年比70万トン減、0.98倍)



※ 出典：岩手県港湾統計年報（令和5年取扱貨物量は速報値）

コンテナ貨物取扱量の推移

東日本大震災後、大船渡港の外貿定期コンテナ航路が休止し、貨物取扱量が減少していたが、釜石港・大船渡港において国際フィーダー航路が開設され順調に回復してきた。H29年に釜石港に外貿定期コンテナ航路が開設され以降、R元年まで増加傾向であったが、R5は対前年比で370TEU減少（0.95倍）した。



大船渡港	外貿定期コンテナ航路 (休止中) (H19年4月～)	日曜日 寄港
	釜山港～清水港～仙台塩釜港～大船渡港 ～釜山港～蔚山港～光陽港～上海港～ 寧波港～釜山港	
釜石港	国際フィーダー航路 (H25年9月～)	土曜日 寄港
	京浜港～大船渡港～仙台塩釜港～京浜港	
釜石港	外貿定期コンテナ航路 (H29年11月～)	金曜日 寄港
	寧波港～釜山港～釜石港～釜山港 ～蔚山港～光陽港～上海港～寧波港	
釜石港	国際フィーダー航路 (H23年7月～)	金曜日 土曜日 寄港
	京浜港～釜石港～京浜港	
宮古港	国際フィーダー航路 (抜港) (H10年6月～)	水曜日 寄港
	横浜港～仙台塩釜港～宮古港～八戸港 ～苫小牧港～横浜港	

(令和5年4月1日現在)

※ 出典：岩手県港湾統計年報（令和5年取扱貨物量は速報値）

※ 宮古港はH25に上記取扱の他に災害がれき輸送3,283TEUあり。（宮古⇄大阪）

※ 釜石港はH27に上記取扱の他に汚染土砂輸送995TEUあり。（釜石⇄八戸）

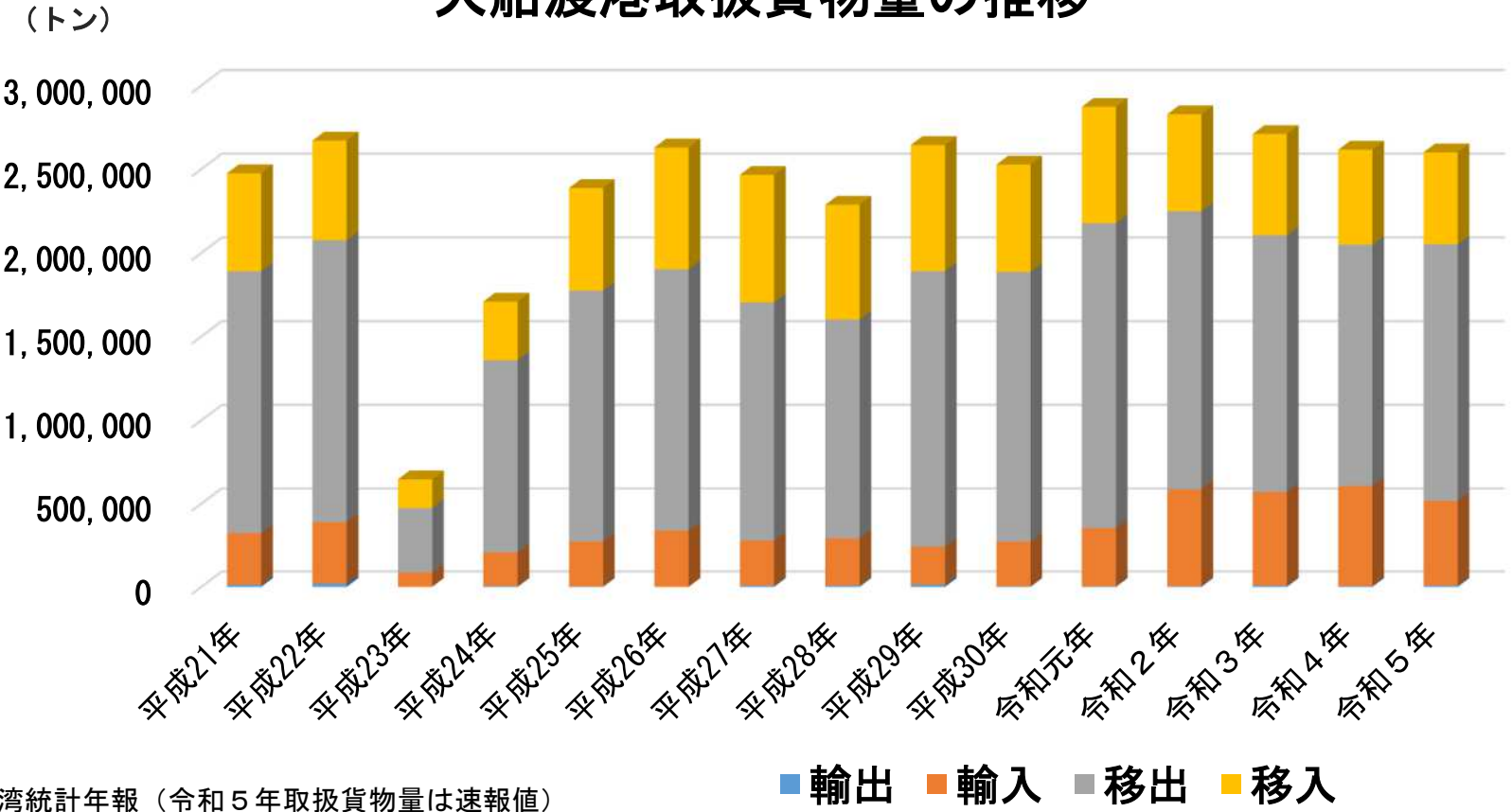
大船渡港の利用状況について

- ・セメントの取扱貨物量の推移は堅調であり、全体の約6割を占めている。
- ・一条工務店の建材の移入が増加。R3:1,049TEU→R4:1,340TEU→R5:1,833TEU
- ・R5コンテナ取扱数は、過去最高を記録。(3,469TEU(実入り)、5,310TEU(空コン含))

単位:千トン

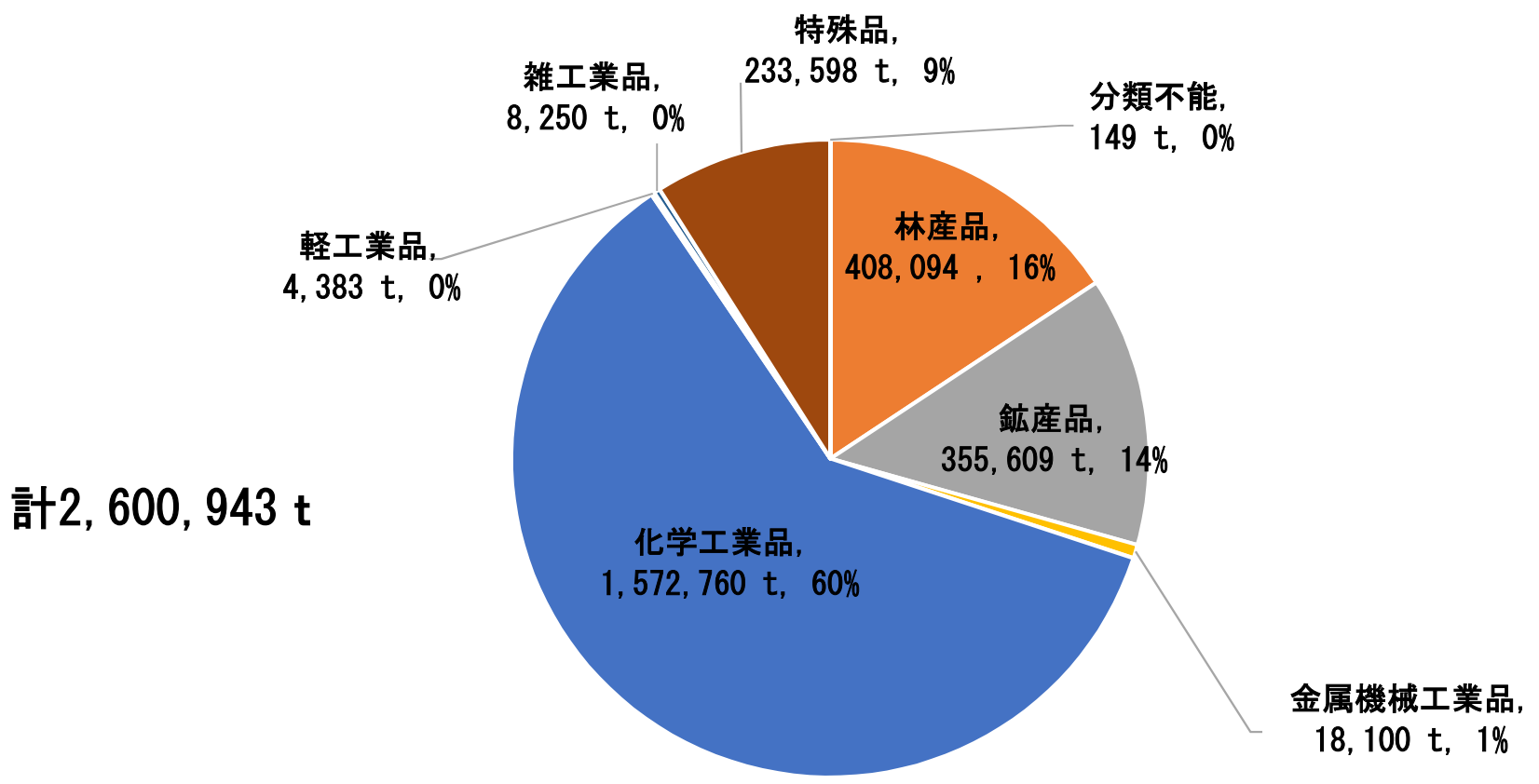
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
2,476	2,671	647	1,710	2,387	2,630	2,466	2,288	2,645	2,527	2,872	2,829	2,710	2,616	2,601

大船渡港取扱貨物量の推移



※ 出典：岩手県港湾統計年報（令和5年取扱貨物量は速報値）

R5取扱貨物量の内訳

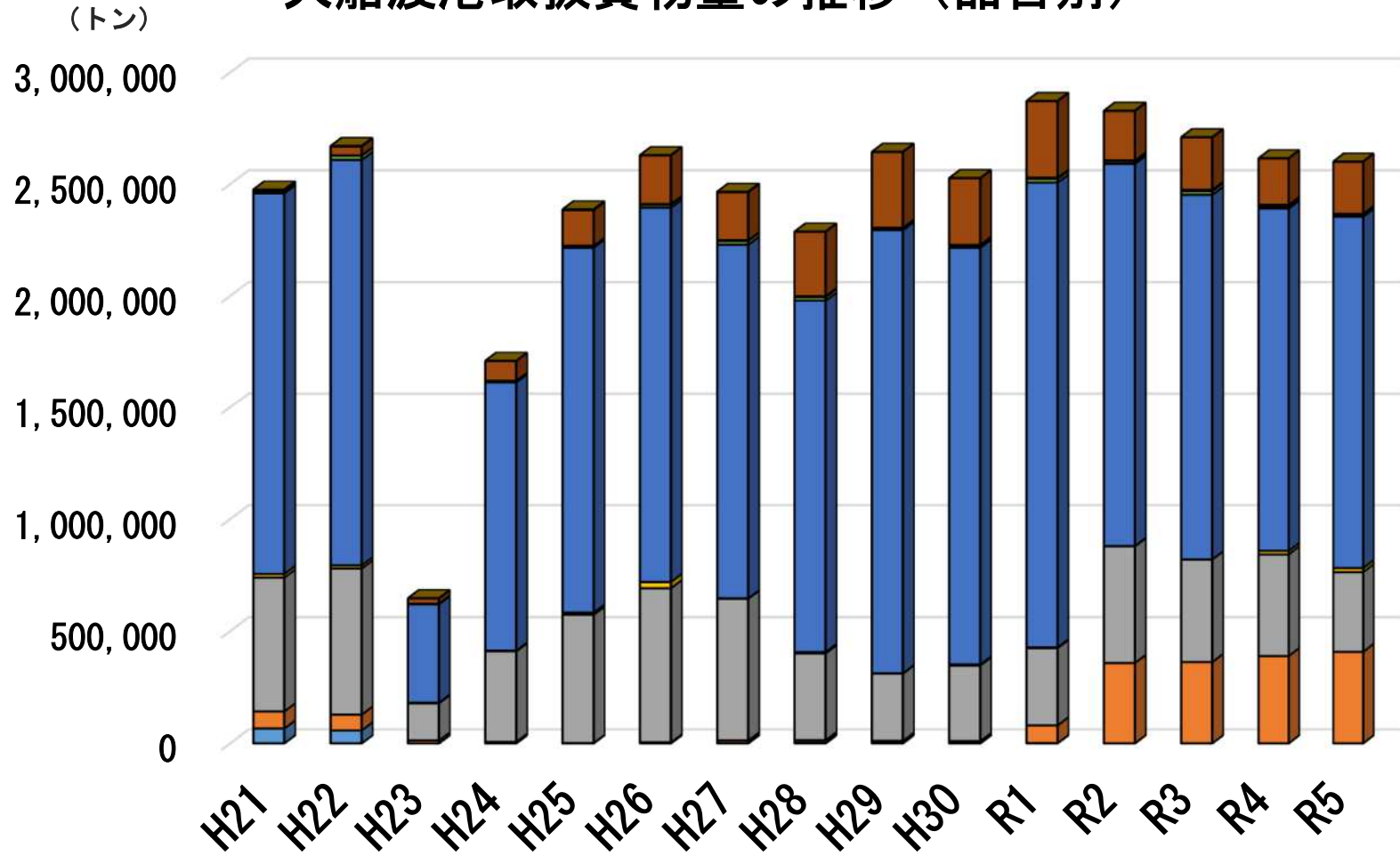


■ 林産品 ■ 鉱産品 ■ 金属機械工業品 ■ 化学工業品 ■ 軽工業品 ■ 雑工業品 ■ 特殊品 ■ 分類不能

・ 「林産品」、「鉱産品（非金属鉱物、砂利・砂等）」、「化学工業品（セメント等）」の取り扱いが大部分を占める。

※ 出典：岩手県港湾統計年報（令和5年取扱貨物量は速報値）

大船渡港取扱貨物量の推移（品目別）



■ 林産品
 ■ 鉱産品
 ■ 金属機械工業品
 ■ 化学工業品
 ■ 軽工業品
 ■ 雑工業品
 ■ 特殊品
 ■ 分類不能

・「林産品」、「鉱産品（非金属鉱物、砂利・砂等）」、「化学工業品（セメント等）」の取り扱いが大部分を占める。

※ 出典：岩手県港湾統計年報（令和5年取扱貨物量は速報値）